

## 競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2017年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に従って実施する。
- 2 練習会場等について
  - (1) 練習は、練習会場係の指示に従い、プログラム記載の指定された場所と時間で実施すること。
  - (2) 跳躍競技・投てき競技の練習は、競技場内において審判員の指示のもとに、競技開始前に実施する。
  - (3) バックスタンド裏の補助走路、砲丸投ピットは使用可能とするが、練習会場係の指示に従うこと。
  - (4) 雨天練習場(雨天時のみ)を使用する場合は、練習会場係の指示に従うこと。
  - (5) 競技開始前の本競技場内のトラックを使用しての練習は、競技開始時刻の20分前までとする。
- 3 競技場について
  - (1) 使用するスパイクのピンの長さはすべて9mm以下とする。ただし、やり投は12mm以下とする。これらのピンの先端は4mm四方の定規に適合し、(尖っているものは不可)、数は11本以内とする。
- 4 招集について
  - (1) 競技者の招集は、第4ゲート(100mスタート裏)に設ける。
  - (2) 招集開始時刻および完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。  
【トラック競技】※オープン種目を含む

競技種目	組	招 集 開 始 時 刻	招 集 完 了 時 刻
100m	1～5組	競技開始 30分前	競技開始 15分前
200m	6～10組	" 20分前	" 5分前
400m	11～16組	" 10分前	" 5分後
800m	1～5組	" 30分前	" 15分前
	6～10組	" 15分前	" 同時刻
1500m	1～2組	" 30分前	" 15分前
	3～4組	" 20分前	" 5分前
3000m	1組	" 30分前	" 15分前
5000m	2組	" 20分前	" 5分前
3000mSC	1組	" 30分前	" 15分前
	2組	" 20分前	" 5分前
【フィールド競技】		" 50分前	" 40分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- (4) 招集の手順
  - (ア) 競技者は、出場種目の招集開始時刻(点呼開始時刻)に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、ナンバーカード・競技用靴・持ち物等の点検を受けること。
  - (イ) 携帯端末およびトランシーバー、その他外部と連絡可能な電子機器類、ならびにビデオ・ラジオ・CD・MD等の機器の競技場内への持ち込みは禁止とする。招集所や競技場内で、これらのことが明らかになった場合は、招集所もしくは現地で預かり、競技終了後に返却をする。(第144条)
  - (ウ) 招集完了時刻(移動開始時刻)に競技者係の誘導に従い移動する。
  - (エ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、同時に2種目に出場する競技者は最初の種目のとき、「2種目出場届」を競技者係に提出する。または、その旨を本人が競技者係に申し出ること。また、棄権する競技者は棄権届(プログラム内に添付)を招集開始時刻までに提出すること。もしくは、本人又は引率教員が口頭で競技者係に招集完了時刻までに申し出ること。
  - (オ) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止とする。
  - (カ) 棒高跳の招集は、競技開始1時間前に現地で実施する。
- 5 競技について
  - (1) 短距離種目では安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。(曲走路)
  - (2) トラック競技は、着取及びタイムにより24人の選手が準決・決勝(県高校総体2日目～4日目)に進出することができる。
  - (3) トラック競技はすべて写真判定装置(全自動電気計時)を使用する
  - (4) 不正スタートをした競技者は一発失格とする。(競技規則162条7)
  - (5) スタート合図は、イングリッシュコマンド「on your marks」「set」とする。
  - (6) 男子5000m女子3000mは、グループスタートで実施する。
  - (7) フィールド競技は主催者が用意したマーカーを、審判員の指示に従い置くことができる。  
(跳躍やり投げの競技者は2カ所、サークルから競技をおこなう投擲競技は1カ所)
  - (8) 女子三段跳の踏切板の位置は10mとする。

(9) 棒高跳びには棒高跳の助走路に沿って「ゼロ」ラインから 2.5m から 5.0m の間は 0.5m ごとに、5m から 18m の間は 1m ごとに適切で安全なディスタンスマーカーを設置する。

#### 6 抗議について (競技規則 146 条)

(1) 競技中におきた競技者の結果または行為に関する抗議は、正式発表の 30 分以内 (同日に次ラウンドがある場合は 15 分以内) に審判長に口頭でなさなければならない。抗議者はまず総務員に申し出ること。抗議者とは競技者自身または、チームの公式な代表者 (監督・部長) とする。

(2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。裁定を不服として上告する場合は上訴申立書に必要な事項を記入し預託金 10,000 円を添えて担当総務員に申し出ること。

#### 7 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実につけること。

(2) ただし、跳躍競技については胸または背部のいずれかでよい。

(3) 1500m、3000m、5000m、3000mSC については胸部に特別ナンバーカードを招集所で配布する。

#### 8 競技場の中に商品名のついた衣類バックを持ち込む場合について

(1) 本大会はスポンサー大会ではないので、注意やマスキングテープによる処理はしない。

(2) インターハイでは、日本陸上競技連盟広告規定を適用する。

#### 9 競技の抽選及び番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技のレーン順及び跳躍投擲の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。番編はアスリートランキングで行う。

#### 10 競技用具について

(1) この大会に使用する器具は、競技場に備え付けのものを使用する。

(2) やりは、持参の物を検査して使用してもよいが、共通使用とする。

(3) やりの検査は、競技開始 1 時間 30 分前～1 時間前まで 104 号室に場所を設ける。

(4) 棒高跳のポールは、現地で技術総務および跳躍審判が行う。

#### 11 予選通過記録と最低計測ライン

	男子予選通過標準記録	最低計測ライン	女子予選通過標準記録	最低計測ライン
砲丸投	9 m 0 0	5 m	7 m 0 0	5 m
円盤投	2 5 m 0 0	1 0 m	1 6 m 0 0	1 0 m
やり投	4 5 m 0 0	2 5 m	2 3 m 0 0	2 0 m
走幅跳	6 m 0 0	5 m	4 m 4 0	3 m 5 0
三段跳	1 1 m 8 0		-	-

(1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が、決定をする。

(2) 予選標準記録突破者及び突破者が 16 人に満たない時は記録上位者から 16 人を選出する。

ただし最低測定ラインを突破した者に限る。最低測定ラインを突破しない場合は無効試技とする。

#### 12 棒高跳におけるバーの上げ方

※バーの上げ方はグラウンドコンデション等により、変更することができる。

※代表決定のバーの上げ下げは棒高跳 5 c m 単位とする

女子棒高跳	200 300 330 (練習)	220-240-260-(以降 10cm)	270-280-209-300-310-320-330
-------	------------------	-----------------------	-----------------------------

#### 13 表彰

女子三段跳、女子棒高跳の表彰は、大会 2 日目に実施をする。

#### 14 その他

(1) 競技の妨げになる応援は禁止する。メインスタンドでの連呼応援は禁止とする。

(2) 学校関係の写真撮影、報道関係は必ず受付で許可を取り、指示に従い制限区域内で撮影をすること。

※スタンドについては、撮影禁止区域を設けるので、係りの指示に従うこと。

※特に望遠レンズ付きカメラによる撮影は、主催者が認めた場合のみ許可する。

(指示に従わない場合は撮影を禁止する)

(3) 投てき場内には、選手、審判、補助員以外は立ち入り禁止とする。

(4) 長距離は、生徒の健康面を考慮し、トラック審判長判断で給水をする。(朝の審判会議で連絡)

(5) 横断幕、のぼりはスタンド最上部にしっかりと固定すること。

(6) 貴重品は各自で管理すること。万一紛失盗難にあっても、主催者は責任を負わない。